



## 年頭雑感



VEC関西支部の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年10月に13年ぶりに中国、深圳を訪問する機会を得ました。堂々たる摩天楼を見るにつけ、深圳の発展を実感した次第です。13年前に香港から中国側に「国境」を通過する際にはバスから降り、長蛇の列を延々待たされたのですが、今回はバスを降ろされるのは同じでも、イミグレーションの手続きは随分機械化され、スムーズになったようでした。平日だったので、小学生の一団が「国境」を行き来していたのが印象的でした。中国の地方から移住してきた人々には都市戸籍が与えられないので、地元の学校には行かせることができず、香港の学校に子供を行かせているのだとか。

深圳は、38年前に特別行政区に指定されて以来、目覚ましい発展を遂げたわけですが、実は特別行政区に指定された地区は中国全土で4,000もあるのですが、深圳ほどの発展を遂げることができた地区は他にはないということでした。GDPは1979年当時2万円であったものが、2017年には110倍となり、人口は20万人から800万人に、さらに昼間人口は2,000万人にもなるということでした。さらに驚くべきことに、人口の平均年齢は32歳ということでした。市の幹部の皆さんも若々しく洗刺としていました。

その若さもあって、近年米国のアクセラレーターが深圳で活動し、大変な人気を博しているようです。報道によれば、中国にはいくつものベンチャーの拠点が育っているといます。アリババの本拠地の杭州、金融の上海、ハイテクの北京、そしてモノづくりの拠点であり、また、テンセントの本拠地でもある深圳です。それに加えて河北省の雄安新区では移動サービスの社会実装の大実験が始まっており、内陸部でも四川省成都市の高新区の技術産業開発園区を訪問した大学の先生がその発展ぶりに驚嘆していました。

結果として中国のベンチャー企業への投資額は3兆円であり、米国に次ぐ堂々たる第2位となり、日本の2千億円とはけた違いに大きいのです。日本も何とかしなければと思いつつ深圳からの帰路に着いたのでした。

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター  
理事長 市川隆治

## 関西のベンチャー情報発信に向けて

近畿経済産業局が、関西で形成されつつあるベンチャーエコシステムをより一層充実させ、関西のベンチャー企業の発展と、全国の起業家・投資家等を関西に惹きつけることを目指して、産学官のベンチャー支援者・機関による「関西ベンチャーサポーターズ会議」を設置。関西のベンチャー企業情報、支援情報の発信等について検討、実施していかれます。

### 要約

- ・会議メンバー：神戸大学忽那教授を座長に12社（12名）のベンチャー支援関係者や府県政令市のオブザーバーなどで構成。
- ・会議回数など：近畿経済産業局に事務局を置き、平成30年7月より年度内4回程度開催。
- ・情報発信方法：当面は近畿経済産業局Webサイトにて発信。SNSも積極的に活用することとしており、近畿経済産業局では初となるFacebookページを開設。

### これまでの成果公表

- ・「関西ベンチャーイベントカレンダー」公開（平成30年10月17日）  
関西のベンチャー支援機関・自治体等が取り組むベンチャー支援事業の最新情報を一元的に取りまとめた「関西ベンチャーイベントカレンダー」を公開。
- ・「関西ベンチャー企業リスト」公表（平成30年11月29日）  
会議メンバー・オブザーバーの協力を得て、関西を代表するベンチャー企業1075社の情報を府県別に取りまとめた「関西ベンチャー企業リスト」を公表。

### 【掲載先】

いずれの成果も近畿経済産業局Webサイトに掲載  
<http://www.kansai.meti.go.jp/3-3shinki/supporters/index.html>  
 Facebookを活用した情報発信  
<https://www.facebook.com/KansaiVentureSupporters>

### 公表ベンチャー企業リスト

- ・支援機関・自治体、中堅企業・大企業、ベンチャー企業・起業家、関西内外の投資家等が有効に活用し、支援者側、ベンチャー企業側双方のメリットにつながることを期待されています。
- 今後の情報につきましてVEC関西支部も本会議へ情報提供していく予定です。

### ◆本件の問合せ

近畿経済産業局 産業部 創業・経営支援課 TEL：06-6966-6014  
 (一財)VEC関西支部 TEL：06-6263-0366

(記)VEC関西支部 事務局

近畿経済産業局 女性起業家応援プロジェクト「LED関西」が今年も開催されます。

日時：平成31年1月25日（金） 13：30～19：30（予定）

会場：グランフロント大阪ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター

（VEC関西支部もサポーターとして応援しています）





# 新年のメッセージ!! 今年のご活躍を期待致します。

※ (一財)ベンチャーエンタープライズセンター 関西支部長 本田 英行

- ・今年も忙中閑で、自然とも共生した日々を送りたいと思います。
- ・私は京都山科、大文字山に連なる山の裾に流れる琵琶湖疎水のすぐ南に親の代から住んでいます。雨さえ降らなかつたら毎朝7時頃から約50分、疎水を歩いています。散歩中、色々な動物に出逢いましたので、その一部をご紹介します。

猿：二度ほど、15匹くらいの群れがすれ違い、我が家の方へ走ってゆきました。

猪：すれ違って、私の足を嗅いで、下流の方へ悠々と歩いてゆきました。翌日の新聞によると、おじいさんがビックリして傘でたたいて逆に襲われ怪我をしたそうです。今年の干支ですのでハッピーを呼び込んで欲しいです。

鹿：疎水を散歩していると見たこともないような大きな野生の鹿が立っていました。真っ黒で堂々としていました。

2019年もよろしくお願ひ申し上げます。

※ 京都女子大学 文学部国文学科 2回生 田村 美咲

- ・2019年は3回生になることから就職活動がはじまります。

今年就活の他、今まで経験したことのない事をどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

私は「和歌」が得意分野でありますももっと違った視点から「和歌」を探究していき、さらに今後のライフワークとしていきたいです。就活といわれても本音のところ就きたい職業は私の中では漠然としておりました。しかし今年の大学の文化祭の実行委員として奮起し文化祭に協賛して頂ける企業様への交渉等大変勉強になりました。そのせいか現在塾講師のアルバイトをしていることもあり教育関係の仕事を考えるようになりました。しかし本当は京都出身の私にとって観光地の交通量は大変集中しており分散化計画の夢があります。今後教育関係のお仕事の他、その夢を実現できるような業界をめざしていきたいと思っています。

※ (株)ノジリインターナショナルトレード 代表取締役 LAD (ラッド) PALITHA (パリタ)

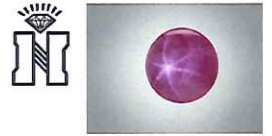
- ・元々、スリランカの自社鉱山で採掘から販売までを行ない政府公認の宝石鑑定士である私は、サファイアを中心とした宝石を通じて23年にわたり日本の皆様喜んで頂いております。

宝石だけではなくスリランカの伝統医学であるアーユルヴェーダに使用する天然ハーブ、美容・健康に良い果実商品の輸入販売を日本市場へさらなる拡大を図っていきたく願っております。

2019年は太陽が浮き出る宝石「セイロンスターサファイア (セイロン=スリランカ)」(写真参照)が今年1年強運をもたらす宝石です。

皆様にとってもセイロンスターサファイアのように光り輝く一年で、さらに2020年のオリンピックに向けても幸せでありますようにお祈り申し上げます。また、ご興味のある方はノジリインターナショナルトレードまでご連絡下さい。

(スリランカ人の社長で宝石及び貿易業等経営。・オフィスは南森町) <http://www.nojili.jp/> <セイロンピンクスターサファイア>



## ～華麗な演技で観客を魅了する バトントワリングのご紹介～

世界選手権などビッグイベントで数々の優勝経験がある平井夢乃様からバトンの素晴しさや将来の夢などを伺いました。

・Q. バトントワリングの演技や競技についてお教え下さい。

A. : バトントワリングと言え ば、パレードや様々なイベントなどで華やかに演技する姿を連想されると思いますが、高度な技術への挑戦、つまりスポーツ競技としても急速に普及・発展しています。バトントワリングは、20世紀初頭・アメリカでの音楽隊によるパレードの指揮者が起源となり、今日まで形状や技術等、様々な面で発展を重ねています。

当初、パレードの指揮者が指揮杖を回すことから始まり、各種競技の応援やセレモニー等で行われていたショーによってバトントワリングが急速に広がりました。学校教育活動・社会教育活動の中で競技人口は急増し、文化とスポーツ両面の要素を持つことから、多分野で活躍し注目されています。現在は、芸術性の高いスポーツとして世界の多くの人々に親しまれ、日本はそのトップの実力を発揮しています。

・Q. 始められた動機や続けられている効果はどのようにありますか。

A. : 姉がバトンを習っていたので、いつも私もついて行っていました。初めは姉の真似をしてバトンを握っていましたが、次第に惹かれていきバトンを習い始めました。現在までバトンが続けられているのは、ご指導下さる先生方をはじめ、家族や私を支えて下さる方々の温かい心があるからです。バトンと出会い、努力は無限に広がる夢を叶えてくれるという事を学びました。

・Q. 現在プロとしてご活躍されていますが、内容はどのようなものですか。

A. : 現役として大会に出場するのはもちろんのこと、イベント等に出演し、バトンの認知度を高めるための活動を行なっています。

・Q. 将来の夢をお聞かせ下さい。

A. : バトンから始まる夢、喜びをたくさんの方に広められるような活動をしていきたいと思っています。まだまだマイナースポーツであるバトンをもっと世の多くの方々に知ってもらい、メジャースポーツになるよう、各地で演技披露等を通じて、バトントワリングの更なる普及・発展に力を注いでいきたいです。そしてビジネスにまで至ることが夢です。バトントワリングがいつかオリンピック競技になる日が来ることを願っています。

◆最近の主な受賞歴の一部をご紹介します!

- ・2018年 第34回世界バトントワリング選手権大会 フリースタイルペア シニア 金メダル
- ・2018年 第43回全日本バトントワリング選手権大会 選手権ペア グランプリ
- ・2015年 第8回WBTFインターナショナルカップ アーティスティックペア アダルト 金メダル
- ・2014年 第42回バトントワリング全国大会 グランプリ・内閣総理大臣杯 受賞

◆イベントなどのお問合せ・メール: [fl.ymnhri@gmail.com](mailto:fl.ymnhri@gmail.com)



(平井夢乃さん)



(喜田さんとのペア演技)

### ～VEC関西より～

・ソフトバンクやサムスンなどベンチャー企業は国際化、大型化してきました。当然のこととしてキャピタルも大きな投資をどんどんしてきます。でもあまり背伸びはせずにじっくりシーズを育てましょう。今年もよろしくお願ひ致します。(本田)

・明けましておめでとうございます。今年は「イノシシ」年、猪突猛進と言いますが、三歩進んで二歩下がるり(メッチャ古い歌ですが...)一歩づつコツコツとマイペースで何か出来ればと思っております。本年も何かとよろしくお願ひ申し上げます。(藤本)

・本年もよろしくお願ひ申し上げます。色彩心理学を探究している私にとってはお正月のハレの日にふさわしい色の中に「金色(ゴールド)」があります。見ただけでも気分が高揚します。心理的には「金色」を好む方は上昇志向があり寛大な人徳の持ち主。とも言われています。今年

は更に色彩心理学で「親子で楽しむカラーセラピー」をテーマとして広げていきたいと思っています。(濱本)

・2019年が幕開けとなりご活躍中の皆様から新年のメッセージを頂き輝かしいスタートとなりました。2025年大阪万博開催が決定し目標の実現にはベンチャーの活躍が不可欠と思います。VEC関西支部もそれに向かってチャレンジして行きたいと考えます。今年も恒例の京都、下鴨神社に初詣し皆様のご多幸を祈りました。(澤村)

<新年交流会の予定>

平成31年2月7日(木) 経済産業省 近畿経済産業局 局長 森 清 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階  
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293